第１３回市民自治推進委員会　産業躍動部会会議録

（敬称略）

◆ 開催日時：平成３０年６月６日（水）　１８：００～

◆ 開催場所：アーニス２階会議室

◆ 出席部会員：部会長　　川田　弘教

副部会長　吉田　武史

　　　　　　　部会員　　鈴木　高士

近井　一夫

宮下　裕次

安達　陽子

　　　　　　　　　　　　 森元　俊明（協働推進庁内委員会部会長）

【観光経済部次長】

大澤　玲裕（協働推進庁内委員会副部会長）

【商工労政Ｇ総括主幹】

◆ 欠席部会員：部会員　　小川　昌宏

◆ 事務局：　　　　　 笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　　 伊藤　慶一郎【市民生活部市民協働グループ主査】

塚崎　翔太【市民生活部市民協働グループ主任】

◆ 議題：部会長・副部会長の選出、今後の部会におけるテーマについて

≪事務局≫

　本来、部会長に進行をお願いするところですが、任期が代わってからの第１回目ですので、部会長が決まるまで事務局の方で議事を進めます。

　本日は、部会長、副部会長を決めるほか、これからの部会のテーマを決めていきます。

新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、１人ずつお名前を読み上げて、ご紹介します。

　登別商工会議所ご推薦の鈴木様、本日は欠席されていますが登別商工会議所青年部ご推薦の小川様、登別市国際観光コンベンション協会ご推薦の吉田様、伊達市農業協同組合ご推薦の近井様、いぶり中央漁業協同組合ご推薦の宮下様、登別消費者協会ご推薦の安達様、一般公募で川田自動車工業㈱代表取締役の川田様。市役所の庁内委員としまして、観光経済部の森元次長、商工労政グループの大澤総括主幹、事務局として市民協働グループの笠井総括主幹、昨年度まで産業躍動部会を担当していました伊藤主査、今年度この部会を担当させていただきます塚崎です。よろしくお願いします。

　では、まず部会長から決めてまいります。

　どなたか部会長に立候補してくださいます方はいらっしゃいますでしょうか。

―なし―

　では、事務局の方から案を出させていただきたいのですが、昨年度まで副部会長としてご就任していただいておりました、川田様に部会長となっていただきたいと思いますが、皆さまいかがでしょうか。

―異議なし―

≪事務局≫

　ありがとうございます。

では、次に副部会長ですが、立候補はありませんでしょうか。

―なし―

無いようですので、副部会長についても事務局案としまして、吉田様にご就任いただければと思いますが、いかがでしょうか。

―異議なし―

≪事務局≫

　ありがとうございます。

　部会長・副部会長が決まりましたので、これから部会長に議事を進めていただくこととし、部会の取り組みのテーマを決めていただきたいと思います。

　川田様、よろしくお願いします。

≪部会長≫

　ご指名いただいたので、部会長を務めさせていただきます。

　これからの活動に関してご意見をいただきたいのですが、今日ご持参いただいている冊子、第３期基本計画のうち、私たちが担当するところは、第３章「大地に根差したたくましい産業が躍動するまち」です。

　以前全体会議の中で、健康をテーマにすることが決まったので、我々はこれまで産業躍動にもつながる事業として、安達さんにかなりご協力をいただいて料理教室を開催しました。

　今回は全体会議から指定されたテーマは無いのですよね。

≪事務局≫

　全体会議の中では、各部会の健康に関する取り組みがある程度落ち着いた段階で、基本計画のうちそれぞれの部会に関連するテーマに取り組むこととされています。

　我々の部会での健康に関する取り組みは、消費者協会と連携した料理教室の今年度分予算がまだありますが、ある程度落ち着いています。

産業躍動部会は第３章「大地に根差したたくましい産業が躍動するまち」のところが該当しますので、関連する取り組みで、どのような事業が良いか、皆さまでお話いただければと思います。

≪副部会長≫

　「食」とは切り離しても良いのですかね。

≪事務局≫

　良いと思います。

≪副部会長≫

　登別市市民自治推進委員会まちづくり部会の委員で、登別の歴史などに詳しい荒川さんから聞いた「人が歩けば、道ができる」というキャッチフレーズが耳から離れないのです。荒川さんは漁港から虎杖浜の方に、昔アイヌの方が古くから歩いていた道があって、それをもう一度復活させたいと話していました。

これから欧米からのお客様が増えると思うのですが、その方々向けに、登別駅から登別温泉まで、安全に歩ける道を作ってみてはいかがでしょう。車道からあまり離れず、怪我や突発的な病気になってもすぐに救助できるような、なるべく道に沿った所で、たまに原生林が見られ北海道らしさを感じられるような経路が考えられます。

≪部会長≫

　今ある歩道を大きな荷物を抱えて歩いている観光客もいらっしゃるので、もう少し楽しみのある道にしたいですね。

≪副部会長≫

　荒川さんが詳しいので、特別講師としてお呼びできれば、面白い林道ができそうです。とにかく人が歩いたら、鹿も通るし、だんだんと道ができていくらしいのです。

　温泉～登別だけではなく、札内～温泉や鉱山町～幌別でも、全市観光に向けて、歩いてゆっくりと自然を満喫しながら、健康維持にもつながるコースがあればいいですね。

≪部会員≫

　温泉に来たお客さんが温泉に入ってすぐ帰るのではなくて、なんとか幌別方面に呼んで市内観光やウオーキングしていただくという話は前から出ていました。

≪副部会長≫

　市内全域を回ってもらえるよう、地域ごとにもっといろんな声を上げて魅力を生かしてほしいです。

≪部会長≫

　他に案はありますか。

≪部会員≫

　まずは観光ですよね。全市観光は商工会議所と観光協会が推進しているところなので、企業人だけではなくて、市民にも協力いただける取り組みができたら良いと思います。

≪副部会長≫

　札内をもっと市民の憩いの場や市民に近い場所として訪れ、楽しむことができる場所にできないかと何十年も前から思っています。

　市民が盛り上がれば、そこに観光のお客さんが自然と流れてくるようになるし、登別温泉からの全市観光に向けても、一番魅力的な可能性を秘めているのが札内だと思います。市民がもっと愛してくれるような場所にするのはいかがでしょう。

≪部会員≫

　札内は、市外の方もすごく魅力的な場所だと言ってくれます。

≪部会員≫

　災害の時も安心ですしね。

≪部会長≫

　すでにのぼりべつ酪農館がビニールハウスでレストランを始めたり、実は私の会社の者がオフロードを走れるコースを作ったりして、人が集まってきています。

≪部会長≫

　これからのシーズンは漁火が見えたり、冬は星空がきれいだったり、私も札内のロケーションはすごく良いと思います。

≪副部会長≫

　先日初めて札内に流星群を見に行きましたが、すごくきれいでした。

≪部会長≫

　住んでいる人にとっては日常だから何とも思わないのでしょうが、市外や海外の人が来られると、感動してもらえると思います。

　他にご意見はありますか。

≪部会員≫

　外国人を含め観光客に市内のお祭りを体験してもらうのはいかがでしょう。

≪部会長≫

　その話は、登別夏祭りの協力依頼で商工会議所を訪問した際に、地獄祭りだけではなく、夏祭りや漁港祭り、刈田神社のお祭りなども観光客にも体験してもらう機会を作れたら良いと会頭から提案いただいていました。

　それも先ほどの札内の風景と同じように、自分たちは市民祭りだと思っていることが、実は観光客にとってはすごく楽しく、喜んでもらえる場なのかと思いまして。また、それができれば地域にお金を落としていただける機会になるのではないかと思います。

　他の案はありますか。

≪部会員≫

　この部会の各業界人の皆さんから意見を集め、登別閻魔やきそばに続く第２のご当地グルメを登別ブランド推進協議会に提案し、試食や試飲みたいなことをして、みんなで検討していくのも面白いと思います。

≪庁内委員≫

　産業躍動部会ですから、産業を発展させることにつながるような事業展開を考えなければいけません。基幹産業である観光業の裾野を広げるという意味では、先ほど案の出たフットパスについて、まずは市民向けのモニターツアーを実施し、評判が良ければ、観光業者に提案するのも一つの手なのではないですか。そういうことであれば、お金がかからないのかなと思います。

≪部会員≫

　昨年、都市調和部会で、ウオーキングマップは作ったのですよね。それはどの地域のものですか。

≪事務局≫

　市内全域です。基本的には前のマップと同じようなマップをそのまま１枚で見られるようにしています。それは次回までに用意しておきます。

≪部会員≫

　ウオーキングは手軽にできることもあり、市内にも町内会などウオーキングをやっている団体はたくさんありますね。

　また、観光客にお祭りに来ていただく案は、主催者側の考えもありますが、観光客も参加して良いというお祭りが一つでもあれば、案内できますね。

≪副部会長≫

　現状、外国の人は日本人に圧倒されているのか、あまりお祭りに参加していません。湯かけ合戦も毎年募集しているのですが、なかなか入ってきません。

お祭り会場まで往復するバスがあれば、年々増えていくと思います。

≪部会員≫

　お神輿にも参加してもらって、一緒に担いでもらうとか　同じ法被を着て、練り歩いてもらうとか、そういう参加型のお祭りがあればいいですね。

≪副部会長≫

　ご当地グルメについて、いろいろな変り種ザンギがあればよさそうです。塩ザンギ、豚ザンギ、みそザンギ、カレーザンギなどが考えられます。そういった変わり種のザンギで、変り種ザンギのマチとするのも面白いのかなと。いろんなお店で、それぞれ変わったザンギを作って、市民があちこちに買いに行ったり、食べに行ったりするようなのも良いかなと思いました。

≪庁内委員≫

　牡蠣がとれる広島は、牡蠣を使った７種類の料理をブランド認定しています。　カキフライは、牡蠣を３枚重ねて成分が抜けないようにしたものがブランドになっています。

　ザンギもいろんな種類を作って、複数をブランド認定するなど。

≪部会員≫

　面白いですね。料理教室で、ザンギをテーマにしたことはありますか。

≪部会員≫

　ありませんが、やろうと思えばできると思います。

≪部会長≫

　コンテストを開催してもいいですね。

≪部会員≫

　それで一番良かったものは、どこかのお店で提供できるようにするとか。

≪部会長≫

　登別の飲食店ではいろんなザンギが食べられるというのは面白い。

≪部会員≫

　登別に養鶏場などはあるのですか？

≪副部会長≫

　ホクリョウの大きな養鶏場があります。

≪部会員≫

　ホクリョウは卵ですけどね。

≪副部会長≫

　卵ですけど、卵を産まなくなった鶏を、２次ブランドにしても良いと思います。

　登別で、ホッケやカレイなどを釣れるポイントを市内外に発信すれば、海産物が有名になり、訪れるお客さんが増え、市民が釣りに行き、釣り人が増えることで密漁も無くなると思います。

　釣りマップを作ったり、市民向けの釣り大会を開催してもいいですね。

≪部会員≫

　港の中にも結構釣り人は入ってきているのですか。

≪部会員≫

　時期によりますが、ニシンやチカなどを釣る人は、結構港で釣っています。

　マナーが良い人はきちんと港を使ってくれるのですが、マナーが悪い人もいて、漁師さんと揉めたり、ごみを捨てたり、糸を引っかけたり、重りを投げて船のガラスを割ったりするので、その兼ね合いが結構難しいです。

　最近は外国の方もスーツケースを持って港を見に来ています。

≪部会員≫

　素晴らしいロケーションだという話をしているみたいですよね。

≪副部会長≫

　山口の、日本一の道の駅になったところの駅長さんが、登別の港と札内の墓の前のところから富浦を見たところの２ヶ所が、日本中どこに行ってもこういう景色は無いというぐらい素晴らしいと言っていました。

≪部会員≫

　富浦の上は確かに良いですよね。あそこにＳＬが走ったら、最高ですよね。

≪部会員≫

　墓地からはよく見えますね。

≪部会員≫

　漁港をもっと深く掘ったら、豪華客船が入って来られますね。

≪部会員≫

　今はただでさえ浅くて、漁船でもつっかえる場所があります。

≪部会長≫

　今すぐに決める必要はないので、これまで出た案をペーパーにまとめて、次回皆さんにお示しして、その中で選択していただくということでいかがでしょうか。

≪部会員≫

　良いと思います。

≪事務局≫

　大きく分けて、ウオーキングツアー開発、お祭りへの誘導、ザンギ開発、漁港への誘客、札内の開発、その５つが出たと思うのですが、それを実現性があるのかどうかも含めてまとめて、あまり間を空けないで皆さんにお示しして、皆さんに決めていただければと思います。

≪部会員≫

　わかりました。

≪部会長≫

　次回の会議の日程を決めましょうか。

≪事務局≫

　では、次回は７月３日の夕方６時からで、開催させていただきます。

≪部会長≫

　それでは以上です、皆さんお疲れ様です。